武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和７年度５月号
統括校長　井内　潔
令和７年５月１日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

https://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmmurayama4sc/index.html

「勉強をなぜする必要があるか」「基礎的・基本的学力の定着がなぜ必要か」

統括校長　井内　潔

新年度が始まり、早くも１か月が過ぎました。新しい学年が始まり、子供たちも新しい環境に慣れてきた頃かと思います。４月に行われた保護者会には多くの皆様に御参加、誠にありがとうございました。学校経営方針や子供たちが自ら学ぶことの重要性についてお話しさせていただきました。学校と家庭が連携して子供たちの成長を支える大切さを改めて感じました。５月３１日(土) に運動会があります。連休明けから本格的な取組が始まります。様々な御協力お願いします。

校庭のみかん　花の蕾

さて、今回は**「勉強をなぜする必要があるか」**そして**「基礎的・基本的学力の定着がなぜ必要なのか」**について改めて考えてみます。

勉強は単に知識を得るためだけではありません。勉強を通じて、子供たちは問題解決能力や論理的思考力を養います。これらの能力は、日常生活や将来の職業において非常に重要です。例えば、数学の問題を解くことで、論理的な思考力が鍛えられ、歴史を学ぶことで、過去の出来事から現在の社会を理解する力が身に付きます。また、勉強は自己成長の一環でもあります。新しい知識を得ることで、子供たちの視野が広がり、より多くの選択肢が見えてきます。これは、将来の進路選択や人生の決断において大きな助けとなります。勉強を通じて得た達成感や成功体験は、自信をもつことにもつながります。

「基礎的・基本的学力の定着がなぜ必要か」(以下、基礎的に省略)を考えてみます。基礎的な学力とは、読み書きや計算などの基本的なスキルを指します。これらのスキルは、全ての学びの土台となります。読解力がなければ、教科書や参考書の内容を理解することが難しく、計算力がなければ、数学や理科の問題を解くことができません。基礎的な学力がしっかりと身に付いていると、より高度な学びに進め、子供たちが自信をもって学び続けるための基盤となります。これは、学びの連続性を保つために非常に重要です。例えば、基本的な文法や語彙を理解していると、英語の文章を読むことが容易で、基本的な数学の概念を理解していると、より複雑な問題に挑戦できます。基礎的な学力は、社会生活でも重要です。例えば、読み書きの能力があれば、日常生活で必要な情報を得ることができ、計算力があれば、買い物や家計の管理がスムーズに行えます。これらのスキルは、社会で自立するために欠かせません。

さらに、今後のＡＩ（Artificial Intelligence 人工知能）社会では、「基礎的・基本的学力」は非常に重要です。技術が進化し、子供たちの生活や仕事の多くが自動化される中で、基礎的な学力があることで、ＡＩを効果的に活用し、管理する能力が身に付きます。例えば、プログラミングやデータ分析の基本的な知識があれば、ＡＩを使った問題解決や新しい技術の開発に貢献できます。論理的思考力や問題解決能力があれば、ＡＩが提供する情報を適切に評価し、活用することができます。

私は、自ら勉強をすることや基礎的・基本的学力の定着が、子供たちの未来を明るくする鍵であると思います。学びを通じて得た知識やスキルは、子供たちの人生を豊かにし、より多くの可能性を開く手助けとなります。私たち教職員一同、子供たちの成長を全力で支援します。「令和７年度　学校経営方針」と「令和７年度　村山学園　児童・生徒の学力向上に向けた取組について」のＱＲコードを載せておきます。保護者の皆様の御協力が不可欠です。御参照ください。御協力よろしくお願いします。

「学校経営方針」

「児童・生徒の学力向上に向けた取組」